

【研究部会プログラム】

【関東研究部会活動報告】

関東研究部会長 坂上 学（法政大学）

関東研究部会では、2017年度（第33回）秋季大会（2017年12月3日(日)）におきまして、国際化委員会と共同で関東研究部会セッションを開催いたしました。テーマは「法廷会計学の創成－国際会議・ジャーナルへの発表に向けて－」で、次の3つの報告が行われました。

第1 報告 中島真澄氏（千葉商科大学）

「Why should the Forensic Accounting be needed in Japan?」

第2 報告 福多裕志氏（法政大学）

「How to make a comment and the role of a discussant」

第3 報告 坂上 学氏（法政大学）

「国際ジャーナル掲載を目指して（方法論）」

また2018年3月20日(火)～21日(水)に関西・中部研究部会との共催で、関東・関西・中部合同研究会を開催しました。初日の研究報告で、関東部会からは坂上学氏・奥村雅史氏の2名による報告がありました。関西・中部研究部会からの報告は、各研究部会報告をご参照ください。

第1 報告 坂上 学氏（法政大学）

「ESG情報をめぐる情報開示基盤の動向とその活用」

第2 報告 奥村雅史氏（早稲田大学）

「内部統制報告書の現状と情報内容－日米比較による検討－」